



自己点検・評価報告書 令和2年度

令和2年7月

学校法人 日中文化芸術学院

日中文化芸術専門学校

目 次

基準 1	教育理念・目的・育成人材像等	1～2
基準 2	学校運営	3～4
基準 3	教育活動	
	観光・通訳ガイド学科	5～8
	日中通訳学科	9～10
	日本語・日本文化学科	11～13
基準 4	教育成果	14
基準 5	学生支援 教育面	15～16
基準 6	学生支援 生活面	17
基準 7	教育環境	18～20
基準 8	学生の募集と受入	21～22
基準 9	法令等の遵守	23～24
基準 10	国際交流	25～26
基準 11	財務	27～28

*評価結果 5 完璧 4 かなり進んでいる 3 普通 2 ほとんど進んでいない NA 当てはまらない

基準1 教育理念・目的・育成人材像等

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念：国際的に活躍できる文化・翻訳・通訳・観光分野の人材を育てることが本校の理念である。教育目標：文化・翻訳・通訳・観光の知識を合わせ持つ総合的人材を育て、本学院生が世界の舞台で活躍し、社会的貢献をすること。</p> <p>能力1 健康な心身と豊かな人間性の育成；国際的な視野の育成；即戦力、学力を揃えたハイレベルな人材育成。</p> <p>能力2 柔軟な問題解決能力と実践力。</p> <p>能力3 優れたコミュニケーション能力。</p> <p>能力4 基礎学力の充実と自主的、継続的学習能力。</p> <p>これらの内容に基づいてシラバス、カリキュラムを作っているため、実現する可能性は高い。</p>	<p>2018年4月に文部科学省に職業実践専門課程に認定され、より実践的な人材を教育することを目指している。企業からも講師を招聘してより実用的な授業を行っている。企業と密接に連携して、最新の実務の知識・技能を身につけられる実践的な職業教育に取り組んでいる。この課程を通じて、多くの学生が就職を決めている。</p> <p>本校は、学校教育法及び私立学校法に基づき、「観光・通訳ガイド」「日中通訳」「日本語・日本文化」に関する専門的な知識及び技術を修得させ、実務もしくは実生活に必要な能力の育成と教養の向上を図ることを目的とする。2015年4月開校以来、5年間の間、語学教育と共に職業実践専門課程を取り入れた実践的な教育を行えるよう、専門分野ごとの教育課程検討の場を充実させ活用している。</p>

基準1 教育理念・目的・人材育成像 点検総合平均： 4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
1-1 理念・目的・人材育成像は定められているか。	4	明確に定められている	各会議で明示し、HP 及び学則にも明記されている	新入生にも浸透させた	HP、学則、手引きなど
1-2 学校として特色を有しているか。	4	学生、教員たちへの理解は行き届いている	観光、日中通訳を中心に職業人材の育成を行っている。	理解レベルを向上させた	
1-3 学校として将来構想を抱いているか。	4	デジタル化を進めた結果を得ることができた。	将来構想は常に学生、教職員に伝え、細目を工夫した。	職業人材の育成にさらに力注ぐ	HP、学則、手引きなど
1-4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が生徒・関係業界・保護者等に周知されているか。	4	理念などを学生たちに周知し、興味がある保護者にも伝えている。	学生、関係者にはHP、授業などで伝えられている	特になし	HP、学則、手引きなど
1-5 各学科の教育目標・人材育成像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	各学科は就職と職業人材の育成を中心に教育活動を行っている	観光通訳業界、ホテル業界にある程度評価されている	コロナウイルス感染症下の観光業界不振。	

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
すべての点検小項目基準を満たしている	学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などを浸透させた。

最終更新日付	2021/6/9	記載責任者	張 永勝
--------	----------	-------	------

基準 2 学校運営

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>新型コロナウイルス感染症に悩まされた一年間であったが、教職員一丸となり努力し、安定した運営状況だと判断できる。</p>	<p>2016年4月に日中文化芸術専門学校教職員就業規程を大阪中央労働基準監督署に登録し、人事管理について、制度上完備されている。</p>

基準2 学校運営 点検総合平均： 3.8

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
2-1 運営方針は定められているか。	4	各会議で全校教職員に示している。	会議への参加、開催		連絡網
2-2 事業計画は定められているか。	4	各形式で関係教職員に示している。	定期的あるいは、不定期的に関係教職員に事業計画を示している。		
1-3 学校として将来構想を抱いているか。	4	つねに学生・教職員に示している。	HP、授業を通し示している。	さらに深く理解してもらうための工夫が必要である。	HP など
2-3 人事や賃金における処遇に関する制度は整備されているか。	3.5	徐々に整備されている。	2016年4月に日中文化芸術専門学校教職員就業規程を大阪中央労働基準監督署に登録している。		
2-4 意思決定システムは確立されているか。	4	会議を厳選し、「教員会議」、「幹部会議」、「学生募集会議」、「教員研修会」、「在籍管理会議」とした。	小さな会議を「教員会議」に組み込み、意思決定を明確化させた。		課題ごとの定例会議

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営は、全ての点検小項目について基準を満たしているが、文書化されていない項目が多いため、点検点数が低い。	多くの項目の内容を文書化し、細目まで徹底的に業務を推進する必要がある。

最終更新日付	2021 /6/9	記載責任者	張 永勝
--------	-----------	-------	------

基準3 教育活動—観光通訳ガイド学科

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>観光通訳ガイド専攻学科は、三学科の内の一つとして設置されているが、他の二学科と違い、中国人の日本観光ブーム、爆買い現象などを背景にして更に今後の流れに乗っていく為に総合的な応用型人材を育成することが急務である。ガイド業務、日本史、旅行中国語会話、日本地理、日本観光概要、日本旅行業法など特殊な科目が設置されている。ガイド業務授業には実際観光地に行き実践的な授業を行うことで学生が好評だった。昨年度はベトナム人学生が増えたが、今年度はガイドをめざす中国人留学生が多い。</p>	<p>学生は日中両国の言葉をツールにして、日中両国の文化や習慣をはじめ、観光客に客観的に歴史、地理、気候、文化、習慣などを説明することによって、正しく日本を認識してもらい、日本の製品を中国人に使ってもらい、日本の経済発展にも役立つ。観光を通して両国民に相互理解や平和友好を促進する趣旨とする。国家資格を取得できるよう、授業も取り組んでいる。昨年は「旅行業務取扱管理者」の資格を取得した学生が卒業し、旅行社に就職。昨年度は多くの学生がホテルに就職し、学校で培った知識を活かしている。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により観光業界が大打撃を受けたため、就職内定者が少なかった。</p>

基準3 教育活動——観光通訳ガイド専攻学科 点検総合平均：4.1

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-1 学科の教育目標、人材育成像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか。	5	旅行業発展の現状に合わせて、中国語と日本語の聞き取り、会話、通訳などを行い観光業界の応用型専門人材を育てる。	学科の教育目標、人材育成像を手引きなどの文書で示し、正しく方向付けしている。	特になし	学則
3-2 カリキュラムは体系的に編成されているか。	4	カリキュラムを編成する体制はある。	学則通りに編成し、専門課程にふさわしいものになっている。	観光業界の現状に合わせて対応していく。	学則
3-3 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。	4	各科目は、適正な位置付けを意識しつつ作成している。	教務課、学科、担当講師を中心に行われている	担当教師の事情によって、うまく組めなかった場合がある。	授業評価表
3-4 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	担当教員の授業自己評価及び学生の授業評価を行い、また講師との面談も実施している。	教員授業アンケート 学生授業アンケート	特になし	授業評価表
3-5 育成目標に向ける授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	3.5	募集体制を確保していると考えられる。	学生授業アンケート	教員の募集体制を更に整備する必要がある。	教員の履歴書など関連資料
学校関係者評価報告書	5	学則に従って授業時間数で各教科の単位を設定し、各教員のシラバスによって成績評価している	成績表あり 学生規程に明記している。	特になし	学則 学生手引

3-7 資格取得の指導体制はあるか。	4	日本語能力試験や通訳案内士および国内旅行業務管理者の補講を行っている	受験状況を把握している。		
3-8 教職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	各自の研修を行っているし、定期的に学科の研修も行っている、制度的に定めていくつもり。	教科書研修を自主研修として行っている、定期的に学科別の研修会を行う。	特になし	教員研修会
3-9 学生進級、留年の認定基準は明確になっているか。	4.5	教員会議でその基準を規定し、それに準じて学生の進級、留年を判定会議で決めている。	進級、留年学生の結果を公示している。	特になし	教員会議記録
3-10 学力低下の学生に補講制度などがあるか。	4	前年度の学年試験には不合格の学生に各科目で補講を行っている。		特になし	補講時間割

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
観光通訳ガイド専攻学科は、教育活動において、すべての点検小項目について基準を満足している。	2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で観光業界が大打撃を受けました。そのため、卒業生の就職が困難でありました。

最終更新日付	2021/6/9	記載責任者	張 永勝
--------	----------	-------	------

基準3 教育活動—日中通訳学科

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>日中通訳学科は学校の三学科の一つとして設置されているが、他の二つの学科と違い、留学生の場合、日本語がN1に準ずるレベル、日本人学生であれば中国語も理解するべく語学的に厳しい要求がなされている学科である。教育目標は、言語を訳せる能力を養成することだけではなく、留学生の場合は、日本で進学することも目標とする者が多い。語学の科目だけではなく、経済学、企業研究、日本社会研究、など人文科学の専門課程も設置し、多分野で翻訳・通訳として活躍できる人材を育成する条件を整えている。</p> <p>2019年度より、日本人学生の割合が増え、中国の大学編入学を目指す学生、高校生が増えた。業評価については、かなり評価が高い授業が多いが、教員の研修などの教育活動をさらに体系化する工夫が必要である。</p>	<p>中国語に関心をもつ高校生、スキルアップなどを社会人などが在籍。卒業生の進学希望者が増え、就職と通信制大学の編入を果たした学生もいる。</p>

基準 3. 教育活動——日中通訳 点検総合平均： 4.2

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-1 学科の教育目標、人材育成像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか。	4	専門的な科目を設け、通訳に相応しい教育を行っている。	学科の教育目標、人材育成像を学則、手引きなどの文書で示し、正しく方向付けている。	特になし	学則
3-2 カリキュラムは体系的に編成されているか。	5	カリキュラムを編成する体制はある。	学則に従い、編成している。		学則
3-3 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。	4	各科目は、適正な位置づけを意識しつつ作成している。	教務課と学科、担当教員が行なっている。	担当教師の事情によって、うまく組めない場合もある。	授業評価表
3-4 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	昨年度より担当教員の授業自己評価及び学生の授業評価を行っている。	教員授業アンケート 学生授業アンケート		授業評価表
3-5 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	確保している。	学生授業アンケート		教員の履歴書 など関連資料
3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	5	学則に従って授業時間数で各教科の単位を設定し、各教員のシラバスによって成績評価している。	成績表がある。 学生規程に明記している。	特になし	学則 学生の手引き
3-7 資格取得の指導体制はあるか。	4	中国語検定対策の補講を行っている。	受験状況を把握している		
3-8 教職員の能力開発のための研修等が行われているか。	3	研修を制度化した。	教科書研修を自主研修として行っている。	研修とほかの業務のバランス調整	教員研修報告書

3-9 進級、留年の認定基準は明確になっているか。	5	教員会議で基準を規定し、それに準じて進級、留年を判定会議で決めている。	進級、留年の結果を公示している。	特になし	教員会議記録
3-10 学力低下の学生に補講制度などがあるか。	4	前年度の学年試験で不合格の学生に各科目で補講を行っている。		特になし	補講時間割、 教員会議記録

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
ほぼ基準に満たしている。	特になし

最終更新日付	2021/6/29	記載責任者	愛甲 芳華
--------	-----------	-------	-------

基準3 教育活動—日本語・日本文化学科

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>外国人留学生が多い学科。日本文化に興味がある学生が多く、文化を学びその分野で就職を目指している。昨年度は進路指導室の教職員の努力が実り、様々な企業・学校が説明に来校し、就職率の向上につながった。</p>	<p>学校のパソコン、インターネット環境の改善もしたため、PDF、パワーポイントなどのデジタルコンテンツを用いた授業の普及をさらに進めた。画像で見えることは学生からは好評である。</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で就職が困難であった。</p>

基準3 教育活動——日本語・日本文化学科 点検総合平均：4.2

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
3-1 学科の教育目標、人材育成像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか。	4	明確に定められている。	学校生活の手引き、HP、学校案内に明示されている。	特になし	HP、学校案内、学生生活の手引
3-2 カリキュラムは体系的に編成されているか。	4.2	体系的に編成されている。授業を通して日本文化や企業文化を伝えている。	当校学校生活の手引きに記載、学校案内に主な授業科目を記載。		学校案内、学生生活の手引
3-3 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか。	4	概ね適正な位置づけがされている。	学校案内	特になし	学校案内、学生生活の手引
3-4 授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	担当教員の授業自己評価及び学生の授業評価を行っている。	教員授業アンケート 学生授業アンケート	担当者が定期的に各授業の評価を行い適正かどうかのチェックを行った。	授業アンケート
3-5 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	確保している。	学生授業アンケート	引き続きふさわしい教員の確保に努める。	教員の履歴書など関連資料
3-6 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	5	基準はある。	学生生活の手引きに定めている。	成績評価・単位認定の基準を整理し、その規定を作成した。	学則 学生生活の手引き

3-7 資格取得の指導体制はあるか。	4	体制はある。	日本語能力検定試験の模試の実施や対策講座を行っている。また、授業時間外にて特定技能試験などの対策も行った。	教員の負担を減らしつつ、引き続き質の高い対策を続ける。	日本語能力補習案内通知、授業日誌、特定技能試験合格通知
3-8 教職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	必要に応じ研修を行い、それを制度化する体制をつくり、教育質向上委員会の会議を開いた。	夏休みに新任講師の研修を行った。また教育実践訓練の教員研修も行った。そのほか、少人数で集まり、問題点を出して解決策を共有した。		教員研修報告書、教員日報
3-9 学生進級、留年の認定基準は明確になっているか。	5	明確に定められている。	学則、学生生活の手引き	規定を厳守して進級、留年の制度を周知させる必要がある。	教員会議記録
3-10 学力低下の学生に補講制度などがあるか。	4	年度末に実施されている。	単位が取得できていない学生には補講、追試を行っている。	昨年より該当者がさらに減少。	補習時間割、教員会議記録

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
日本語・日本文化学科は、教育活動において、すべての点検小項目について概ね基準を満たしている。	職業実践訓練課程の実施により、就職、進学向けの教育活動を積極的に取り入れ、昨年は多くの学生が就職内定をいただいたが、昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で内定者が減り、全般的に就職難であった。

最終更新日付	2021/6/21	記載責任者	森本 濠
--------	-----------	-------	------

基準4 教育成果 点検総合平均：3.1

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
4-1 定期試験の成績公示を行っているか。	4	前期・後期試験の通知	成績表、試験結果の通知		成績表
4-2 資格取得率の向上が図られているか	4	中国語検定、日本語能力試験の合格者なども出て、全体的に合格者が増えてきた。	試験合格通知	受験指導を行う	
4-3 進学率の向上が図られているか。	3	進学率が向上した	進路調査		卒業生進学リスト
4-4 退学率の低減が図られているか。	3	進路指導、生活指導の努力により、退学者数が減った	退学リスト		
4-5 就職率の向上が図られているか。	3	コロナウィルス感染症の影響で就職率が下がった	進路調査		卒業生就職先リスト作成
4-6 在学生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2	在学生は学校とアルバイトに生活の中心にあり、社会活動をあまりしていない。	学生調査		

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
進路指導などの成果が実った。	専門学校であるため進学希望者より就職希望者が多い。2年間の課程と進路支援の結果、ほとんどの就職希望者が就職した。

最終更新日付	2021/6/21	記載責任者	森本 濠
--------	-----------	-------	------

基準5 学生支援—教育面

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>2015年4月に開校したばかりだが、本格的な進学、就職指導の体制を整いつつである。日中通訳学科では、大学院・大学への進学希望者が多いので、すでに担当者がきめの細かい指導を行っており、2016年4月までの卒業生は名門大学・大学院に進学した。観光通訳ガイド専攻学科は就職をめざす学生を対象として設置されており、卒業生の多くは観光業界などに就職した。日本語・日本文化学科は専門知識を育成中、日本語能力を高めるように力を注ぎ、昨年度はホテル業界などに多くの卒業生が就職した。全学科には社会が必要な人材の育成に重点において、教育している。</p>	<p>カリキュラム内での社会に必要な知識の授業を中心に行っている。資格取得を強化した授業を組まれている。日本語能力試験対策として、N1,N2の受験生には補講を実施し、添乗員、中国語検定の受験対策も補講している。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた本年度は遠隔授業などを活かし、さまざまな教育支援を行った。</p>

基準5 学生支援—教育面 点検総合平均：4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
5-1 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。	4	進路指導室の努力により、はやめに進路を決定できる。	進路指導室、求人情報提供公開掲示板など	指導体制の充実	
5-2 留学生のための日本語指導等の体制は整備されているか。	4	放課後の日本語補講などを設けた	成績不振者に補講を実施している。	非漢字圏の学生への補講体制をさらに細かくする。	カリキュラム表 補講実施表

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各項目の基準を満たしていると判断できる。	入試課、学生課、教務課、各学科、進路指導室が連携し、全校をあげて就職・指導体制、日本語指導体制をつくりあげている。現状をさらに精査し、不適切な点を改善し、より良い体制づくりに尽力する。

最終更新日付	2021/6/21	記載責任者	森本 濠
--------	-----------	-------	------

基準6 学生支援—生活面

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学生支援は進学指導体制の構築、就職活動指導体制作りと進んでいる。学生寮の整備、アルバイト指導を強化している。留学生に対するビザの更新に関する指導も常に行っている。</p>	<p>ベトナム、中国国籍の留学生に対し、母国語での対応を行っている。新型コロナウイルス感染症の影響で対応が必要な留学生に対して、学費の個人相談、アルバイトを含めた支援を行っている。</p>

基準6 学生支援—生活面 点検総合平均：4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
6-1 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。	4	整備されている	進路指導室と進路指導担当を配置している。		
6-2 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか。	4	学費の分納など、制度を整備した。	アルバイトの紹介などの支援活動を積極的に行っている。	さらに支援を行う	
6-3 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか。	4	機能している	学生課職員や担任教師を配置し、病気の学生を病院に付き添うなどをした。		
6-4 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか	4	学生の支援を行っている	SNSを活かした連絡網で悩み相談、生活指導などを行っている。		
6-5 保護者と適切に連携しているか。	4	連携している	外国人留学生がおおいが、保護者と連絡の連携に取り組んでいる。		

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各項目について基準を満たしている。	留学生が多い為、経済的に困難な学生へアルバイトの支援も必要である。

最終更新日付	2021/6/28	記載責任者	薩仁 其其格
--------	-----------	-------	--------

基準 7 教育環境

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>施設・設備は効果的に教育目標を達成できるように、事業計画に明確にして、安全、快適な教育環境を提供できるように計画的に整備している。留学生が多いため、防災対策として、防災センターの見学、防犯・防災講習会や非常口の定期点検などを実施している。図書室も蔵書量を増やすことで充実させている。学外実習等の体制も整備されている。台風などの天災があり、運動会・音楽祭を実施できなかった。本年度は毎年行っている学園祭・運動会・音楽祭を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。</p>	<p>毎年新入生に対して、警察署による交通安全・防犯・防災講習会が行い、阿倍野防災センターの見学も行っていたが、本年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった。2018年からIT化を推進していたため、新型コロナウイルス感染症の中で双方向の遠隔授業に役立ち、教育の質の維持に役立てた。</p>

基準 7 教育環境 点検総合平均：3.8

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
7-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	計画的に対応している	パソコン室の再整備、校内LAN環境の整備。	学生の教育環境の改善と校舎の建築。	
7-2 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	教育実践訓練課程の充実	2年生は学外実習体制がある。		
7-3 校舎平面図、備品台帳、図書室台帳などの教育環境関連物品を揃っているか	4	揃っている。図書室台帳を作成した。	図書室の整理が進んだ。		
7-4 企業団体など連携契約体制を整備しているか	4	連携契約体制を整備している	海外の大学、日本の旅行会社、教育実践専門課程の協力企業などとの連携体制が整備されている。	コロナウイルス感染症のが落ち着き次第、学生のために企業を招いて説明・面接会を実施したい。	
7-5 防災に対する体制は整備されているか	4	積極的に推進している	新入生に対する防災、防犯教育制度がある。		

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育環境は全ての点検小項目について基準を満足している。	図書室、パソコン教室の備品を充実させた。パソコンなどの備品などを状況にあわせ、新調する必要がある。

最終更新日付	2021/6/28	記載責任者	郭 世斌
--------	-----------	-------	------

基準 8 学生の募集と受け入れ

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>本校の紹介は、ホームページ、パンフレット、チラシ、広告を通じて入学希望を持っている学生に周知徹底している。海外留学生の募集は、海外へ直接行って説明会を実施。国内の募集は、日本語学校や高等学校へ行って説明会を行う、進学フェアの参加することにより市場調査と学校間の信頼関係を強化し、質の高い学生募集を行っている。特に、海外では、現地の大学とも提携し、交換留学など募集・受け入れにつながるシステムを確立している。選考基準を定め、入学試験を実施し、厳正な募集を実施している。</p>	<p>ビデオ映像や写真等を多く活用し、視覚に訴え、希望する学生たちが自分の目で見て、理解できる学校紹介を心がけている。また、学校内の教育質の向上、親身な学生対応や豊富の学生活動の充実など学生目線に立った学校づくり、改善や強化により、良い口コミに繋がり、口コミよりの受験も多くあった。</p>

基準 8. 学生募集と受け入れ 点検総合平均：4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
8-1 学校案内に関する資料が揃っているか。	4	揃っている	日、中、越三言語のチラシ、ホームページ。		ホームページ、パンフレット、チラシ
8-2 学校案内に関する資料は定期的に更新されているか。	4	適正に更新されている	ホームページで更新されている		ホームページ、パンフレット、チラシ
8-3 学生募集活動は、適正に行われているか。	4	適正に更新されている	時期によって行われている	特になし	教員会議、議事録
8-4 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	4	適正に更新されている	選考基準に基づき、選考課題を増やして行っている。		
8-5 学生募集活動に関する規程などの書類を整備しているか。	4	整備している	学生の手引き、学則、内規	特になし	学生の手引き、学則、内規
8-6 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	正確に伝えられている	面談で説明している		
8-7 学納金は妥当なものとなっているか。	4	妥当なものとなっている	他校のものと比較対照している	特になし	

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
募集・受け入れ体制は、パンフレットや選考基準で妥当だと言える。日本人募集を強化したがまだ改良の必要がある。	受入定員に関しては監督官庁の指導に従い厳守し、日本国内の学生のほか、留学生に対しても募集活動を行っている。

最終更新日付	2021/6/28	記載責任者	馮 美越
--------	-----------	-------	------

基準 9. 法令等の遵守

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>法令、監督官庁の大阪府私学課、および出入国在留管理局の指導等を遵守して学校運営を行っている。</p> <p>自己点検・自己評価を制度化し、毎年、定期的に行うように定めている。</p>	<p>自己点検・自己評価報告書及び関連資料の精度をさらに上げる、その他法令・指針を遵守する。また顧問弁護士にも依頼し都度確認を行っている。</p>

基準9 法令等の遵守 点検総合平均：4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
9-1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	法令に従って運営している	常に法令や基準など確認している。	都度確認し、法令を厳守する	学則
9-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	4	個人情報の重要性を十分に認識し、学校全体の取組みとして各種情報の保護を図っている	教職員会議などを通して周知させた	学生のアルバイト先からの在籍確認などに関する対応	
9-3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	積極的に努めている	自己点検・評価報告書及び関連資料	毎年自己点検・評価の結果より改善している	自己点検・自己評価報告書
9-4 自己点検・自己評価結果の公開はしているか	4	毎年情報公開している	ホームページに公開している自己点検・自己評価報告書		

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各項目の精度があがっている。	法令を遵守し、健全な学校運営を行い、学生の教育に力を注いでいる。

最終更新日付	2021/6/28	記載責任者	張 永勝
--------	-----------	-------	------

基準 10 国際交流

点検大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>学園祭・海外研修などにより学生が国際交流の場ができた。留学生を積極的に受け入れ、日本国内から多くの留学生が入学した。海外の多数の大学と姉妹校を締結し、異文化交流の促進を積極的に行い、日本だけでなく、世界へと広く視野を持った人材育成を目的としている。留学生支援室を再編し、進路指導の機能を強化した。各在籍国の母国語がわかる職員が業務に慣れ、留学生のビザ更新指導及び日本語教育の取組みなどが充実。留学生の就職進学率が大幅に上がり、ますますの国際交流、留学生体制を進化している。</p>	<p>中国とベトナムをはじめとする多くの留学生に対応する関連業務を積極的に推進した結果が表れた。それにより安定した学校運営ができています。2016年には、本校の台湾姉妹校へ第一回の台湾研修旅行を行った。昨年まで運動会・学園祭・音楽祭には各国籍の方が参加し、国際交流を行った。本年度は山東省の学校と友好関係を築くことができた。</p>

基準 10 国際交流 点検総合平均：4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
10-1 留学生募集体制を整備しているか	4	整備されおり、常に改善している。	募集・受入れ体制と資料など	特になし	HP、パンフレット、チラシ、動画など募集体用資料
10-2 留学生管理体制を整備しているか	4	業務のマニュアル化・組織化をすすめた。	教務課、学生課により出席率と成績率の指導と管理を徹底的している。留学生のビザ管理、防災教育などの業務を行っている。	業務のマニュアルの改良、改善	教員会議議事録など
10-3 留学生支援体制を整備しているか	4	整備されている	各在籍国の母国語がわかる職員がおり、留学生のビザ更新指導、就職支援及び日本語教育の取組みなどを行っている。コロナウィルス感染症に大きな影響を受けた今年度は生活支援などを中心に行った。	支援の強化	教員会議議事録など

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全ての項目の基準について満たしている。	留学生に対して母国語で支援を行うことにより、中退を防ぐなどの効果があった。

最終更新日付	2021/6/28	記載責任者	張 永勝
--------	-----------	-------	------

基準 11 財務：4.0

点検小項目	点検得点	現状認識・評価等	根拠	課題とその解決方向	参考資料
11-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.5	安定している	財務諸表	財務基盤のさらなる安定をめざす	財務情報
11-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3.5	妥当なものとなっている	新規入学者層および留学生を積極的に開拓しました。職業人教育事業を継続し、事業規模を縮小均衡させることなく教育施設設備の更新・業務の効率化を図り、教職員の雇用を維持していくことを大前提として、中期事業計画・年度予算・収支計画を策定した。	業務のマニュアル化・組織化をさらに強化する必要がある	理事会、評議員会議事録など
11-3 財務について会計監査が適正に行われているか	4	適正に行われている	財務内容についても監事に理解されることにより、会計年度終了後の会計監査が効率よく実施されている。	業務のマニュアル化・組織化をさらに強化する必要がある	理事会、評議員会議事録など
11-4 財務情報公開の体制整備はできているか	5	整備している	ホームページに掲載してある。	特になし	ホームページ

5. 完璧 4. かなり進んでいる 3. 普通 2. やや足りない 1. ほとんど進んでいない NA. 当てはまらない

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
全ての項目の基準について満たしている	財務基盤を安定させるため、収支の見直しとともに、入学時前の経費支弁の可否の確認、退学・除籍などのドロップアウト対策を強化して、学生課がより学生に寄り添った対等をし、改善を図った。結果、新型コロナウイルス感染症下ではありますが、退学者は少なく、教育効果もあり、財務基盤の安定につながった。

最終更新日付	2021/7/2	記載責任者	羅 晶、車 慧慧
--------	----------	-------	----------